

スポーツ庁「スポーツエールカンパニー」の認定を6年連続取得 ～ 職員の健康増進のためにスポーツ活動の促進を支援 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、1月23日、従業員の健康増進に向けスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業として、6年連続でスポーツ庁からスポーツエールカンパニーの認定を受けました。

当金庫は現在、5年以上連続して認定を受けた企業に付与される「ブロンズ」に認定されています。来年度は7年以上連続して認定を受けた企業に付与される「シルバー」を目指し、引き続き、職員の健康増進のためにスポーツ活動の促進を支援します。



スポーツエールカンパニー
「ブロンズ」認定ロゴ

記

1. スポーツエールカンパニーとは

「働き盛り世代」のスポーツの実施を促進し、スポーツに対する社会的機運の醸成を図ることを目的に、平成29年に創設されました。従業員の健康増進に向けスポーツ活動の促進に積極的に取り組む企業を「スポーツエールカンパニー」としてスポーツ庁が認定する制度です。

2. 当金庫の主な取り組み

(1) 地域のスポーツ・ウォーキングイベントへの参加

「OSAKAシティウオーク」や「Do Sports Fes」

（ともに大阪市主催、当金庫協賛）に役職員と家族が多数参加

(2) スポーツクラブ活動の推進・支援等の実施

軟式野球部、バレーボール部、フェンシング部等

(3) 福利厚生サービスを導入し、健康サポートアプリを利用した日々の健康管理および運動を推奨。また、大阪府信用金庫健康保険組合と連携したイベントを職員に推奨し、職員が運動を実践する。

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

